このまちで暮らす
私たちが主役の Magazine

広報せいよ

Seiyo City Public Relations

DECEMBER 2026
12
No.272



特集

時と空間を超えて

COVER 表紙の写真

野村町内７つの地域づくり組織が開催した「校歌フェス」。世代を超えた共奏の姿を届けます。

特集

時と空間を超えて

～世代と地域をつなぐ校歌継承プロジェクトの軌跡～

地域の風景や歴史が込められた「校歌」。
閉校で歌う機会が減っても未来へ歌い継ぎたい。
野村町内すべての地域づくり組織（7組織）が結集し、3年に及ぶプロジェクト
「校歌の効果で♪愛する地域を♪残していこうか♪」に取り組みました。
歌に込められた思いを共有し、全10曲を音源化。
集大成の「校歌フェス」に至る”共奏”の軌跡を紹介します。



競争ではなく共奏

立ち上がったのは、野村町内すべての地域づくり組織。盛んに地域づくり活動が行われてきた野村でも、地域を超えて結集するのは初めてのことでした。

掲げた基本目標は「競争ではなく共奏」令和5年度から各地域でワークショップがスタートし、老若男女多くの地域住民が参加しました。

講師に杉田さんを迎え、歌詞や旋律に込められた意味を紐解いていく参加者。

「歌詞に出てくる山は昔遠足でよく登ったんよ」思い出を共有する中で、地域の魅力を再認識していきます。歌が世代を超えて紡がれ、校歌は再び輝きを取り戻しました。

令和6年度からは各地域の夏祭りなどで次々と披露。そして、令和8年3月、集大成のフェスでそれぞれの校歌を共奏しました。

消えゆく校歌

このプロジェクトの原点は、平成30年7月豪雨災害からの復興を目指す中で開催されたコンサートでした。

アカペラグループINSPi（インスピ）の杉田篤史（あつし）さんと当時の野村小学校6年生が、復興ソング「のむらのうた」を制作。そのお披露目の場で、東日本大震災で被災した福島県南相馬市（旧浪江町）の中学校の校歌も演奏されました。

「校舎は流されても、校歌は残っている」ーー。被災地で中学生が歌い継ぐエピソードを語りながら歌う杉田さん。感銘を受けた住民が「閉校で歌う機会が減った校歌が、記憶から消えていく前に残したい」と杉田さんに提案。ここからプロジェクトは動き出しました。

未来へ響く校歌の記憶

プロジェクトに関わった３人の視点から、校歌継承がもたらした変化と未来への展望を 紐解きます



Interview



アカペラグループ INSPi

杉田　篤史 さん

Sugita Atsushi

INSPi リーダー。ハーモニー体験を通じて社会貢献を行う株式会社 hamo-labo を主宰。
平成 30 年 7 月豪雨災害後の復興支援をきっかけに 2023 年西予市へ移住。本プロジェクトの講師・監修を務め、音源制作を担当。

歌は歌われることでずっと生き続ける

ワークショップは「校歌について教わりたい」という思いで臨みました。歌詞にある地名や思い出を共有してこそ、歌に魂が宿るからです。住民のみなさんと歌を考察することで、世代を超えて地域の魅力などを共有できる素晴らしい時間になりました。
校歌には、メロディを乗せた瞬間に子どもの頃の情景や匂いを呼び覚ます「時と空間を超える力」があります。ただ、閉校によって校歌に登場する山への遠足など、思い出の地に行く機会自体がなくなっています。形ある物と違って、歌は歌い継がれることでずっと生き続けます。校歌をきっかけに、思い出の地を再び訪れるような動きが地域全体に広がっていくことを願っています。



大野ヶ原むらおこし会

萱原　誠司 さん

Kayahara Seiji

大野ヶ原むらおこし会長、同地域づくり活動センター長を務める。
地域住民とともに、地区ワークショップを主催。情景や歴史が詰まった校歌を、次世代に受け継ぐ活動にも挑戦中。

短い歌に凝縮された地域の誇りを再認識

現存する大野ヶ原小学校の校歌を今のうちに記録に残していきたいという強い思いで参加しました。昭和 25 年の第 1 次入植開拓などの歴史を経て、昭和 54 年に制定された校歌には、大野ヶ原の自然や開拓魂が詰まっています。特に 2 番の歌詞に出てくる「大地を拓く　たくましい」というフレーズには、先人の苦労と努力が重なり、今歌っても胸が熱くなります。
ワークショップは、交流が少なかった世代が楽しく集う場となりました。校歌フェスでは、今まで聴く機会のなかった他地域の校歌を知る機会になりました。地域を活性化する策は意外と身近にあります。これから、校歌に込められた意味を次世代へしっかり受け継いでいきます。



愛媛大学社会共創学部

片岡　由香 さん

Kataoka Yuka

愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科講師。都市計画、景観などを専門とし、県下で多数の委員を歴任。本プロジェクトを学術的な面からサポート。アンケート調査などを実施し、将来にわたり地域に与える効果や影響を明らかにした。

校歌を紐解く試みが、将来への展望を高める

校歌を単に歌うだけではなく意味を考察をすることで、エピソードが共有され疑似体験できる効果があります。アンケート調査でも、参加者の「将来への展望」が明確に向上することが立証され、他地域でも応用可能な優れた手法だと確信しています。
また、校歌が音源化されたことで、配信などを通じて新たなつながりを生み出す基盤ができました。
今回は自地域の魅力を共有する「序章」でした。今後は周辺地域の文化に触れ合い、お互いをより深く尊重し合うマインドをつくることが大切です。空間を超えて 7 組織が連携した意義がここにあります。共奏の輪がさらに発展していくことを期待しています。





















①～⑧フェスでそれぞれの校歌を奏でる⑨７組織が集まり校歌の活用などについて議論⑩・⑪ワークショップで歌詞の背景を紐解き、思いを乗せて歌の練習に励む
（特集写真提供：野村町７地区地域づくり団体連合）

７つの地域づくり組織からのご案内



記念 CD が完成！

野村町出身の Yurica。さんをはじめ、澤田知可子さん、ゆうきさんら縁のあるアーティストが参加。校歌全 10 曲と合唱用のピアノ伴奏音源を収録しています。

配布・販売・視聴方法

詳細が決まり次第、地域づくり組織のホームページやチラシなどでお知らせします。
右の二次元コードから、デジタル音源を無料で聴くこともできます。（通信料は利用者負担）

野村地域自治振興協議会

YouTube　Spotify

Check!

広報せいよ 12 月号の特集は

市公式 YouTube で配信中

市公式 LINE「まちのこと」からご覧いただけます。

行政情報番組「いいやん！西予」で放映中
放送日時は P20

重要施策の三本柱

Ⅰ 医療・福祉改革

◆地域医療・福祉の確保
- 西予市民病院、野村診療所、野村介護老人保健施設つくし苑３施設の指定管理による持続可能な地域医療・福祉の提供　【11 億 9742 万円】
- 国保診療所の経営基盤を維持するため繰出金による支援　【4385 万円】
- 休日・夜間の救急診療や小児医療体制の維持・強化　【2443 万円】
- 巡回診療車による無医地区への巡回診療を支援　【557 万円】
- 奨学資金貸与制度を継続し、将来の医療・福祉人材不足に対応　【210 万円】
- 二次救急集約に伴う交通手段の確保　【6 万円】

Ⅱ 人口減少対策

◆自然減対策事業（出会い・結婚・妊娠・出産・子育て）
- 子育て世帯支援のため 18 歳までの医療費助成を継続実施　【1 億 1733 万円】
- 高校の市外入学生確保を図るため遠距離通学費補助金を拡充　【404 万円】
- 結婚推進委員による婚活イベントなどの開催で出会いの場を創出【122 万円】

◆社会減対策事業（移住・定住・仕事）
- 子育て世帯などの定住促進と空家の利活用を図るため補助金を交付　【1280 万円】
- シビックプライド醸成のため中学生応援米事業を実施　【830 万円】
- 中学生向けの合同企業説明会及びお仕事座談会を実施　【10 万円】

Ⅲ 防災・減災対策

◆ハード事業
- 新たな拠点として「にきぶ地域づくり活動センター」を整備　【3 億 3923 万円】
- 三瓶地区の浸水被害防止のため排水路改修を計画的に実施　【3 億 3239 万円】
- 平成 30 年７月豪雨災害で被災した野村地区の復興事業の着実な推進　【1 億 6986 万円】
- 安定した情報伝達機能を確保するため野村地区の防災行政無線設備を更新　【9713 万円】

◆ソフト事業
- ワークショップなどを通じた事前復興まちづくり計画の策定を推進【583 万円】
- 自主防災組織・地域防災リーダーの育成強化【435 万円】

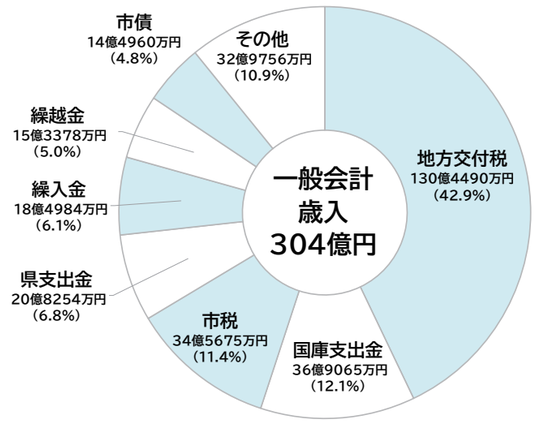
令和７年度

決算報告

赤字幅は縮小するも依然として課題が継続

令和７年度決算が第３回市議会定例会において認定されました。
令和７年度は、「医療・福祉改革」「人口減少対策」「防災・減災対策」の３本柱を重点施策に掲げ、各種事業に取り組みました。
決算の状況は、実質単年度収支の赤字額が大幅に縮小するなど改善の兆しが見られました。一方で、各種財政指標や基金残高については、依然として厳しい状況が続いています。
令和８年度から本格的にスタートした「財政危機脱却プラン」。引き続き、このプランを着実に実行することで慢性的な赤字からの脱却を図り、持続可能な行財政基盤を確立していきます。

問 財政課☎ 62-6402



主な用語解説

■地方交付税
どの地域の住民にも一定水準の行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国の税金の一部から交付されるお金

■繰入金
財政調整基金やふるさと納税を積み立てた基金などから繰り入れて行政経費にあてるお金

■市債
国や銀行などから借り入れるお金

■その他
使用料及び手数料、財産収入など

主な用語解説

■公債費
借金の返済と利子の支払い

■扶助費
社会保障に要する費用

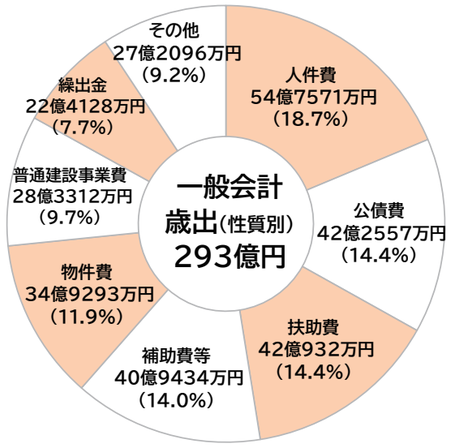
■補助費等
住民や各種団体、企業会計への補助金など

■物件費
委託料や備品購入費、消耗品費など

■普通建設事業費
道路、公共施設整備のための経費など

■繰出金
特別会計に渡すお金など

■その他
維持補修費、積立金など



令和７年度決算の
ポイント解説

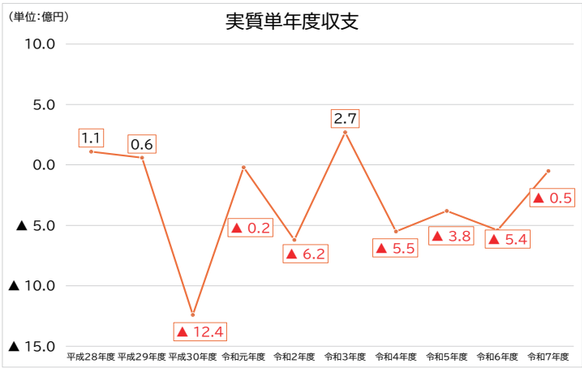
一般会計決算の詳細は市ホームページをご覧ください

ポイント①

赤字は大幅に圧縮も さらなる財務改善が必要

歳入から歳出を差し引いた決算は黒字となりましたが、財政調整基金（市の貯金）の増減などを反映した令和７年度の実質単年度収支は、前年度の５億4263万円の赤字から5381万円の赤字となりました。

依然として赤字の状況は続いているものの、地方交付税の追加交付や先行した行財政改革の取り組みなどにより、赤字額は大幅に縮小し、財政調整基金の取り崩しが減少しました。



ポイント②

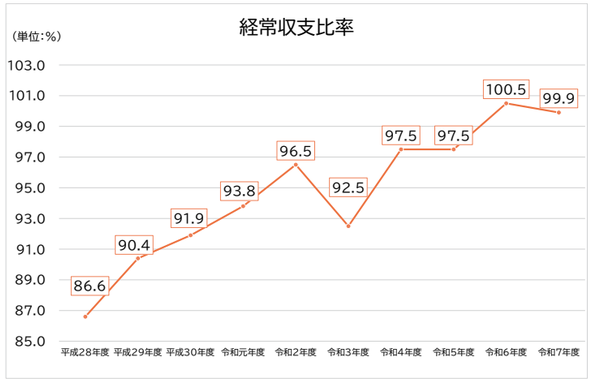
財政のゆとりは 依然として厳しい状況

経常収支比率は99.9％となり、前年度からわずかに改善しました。

この指標は、収入に対し、人件費や借入金の返済など継続的に必要となる経費が占める割合を示すものです。一般的には80％台が望ましいとされています。

本市は、この割合が極めて高い水準にあり、財源の余裕が限られている状況が続いています。

来年度以降、過去の借入金の返済がピークを迎えるため、この指標は当面高い水準で推移する見込みです。



ポイント③

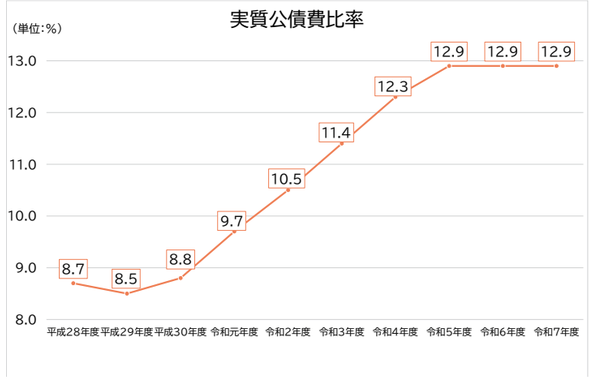
借入金の返済が続く 財政状況

実質公債費比率は12.9％となり、前年度と同じ水準でした。

この指標は、市の収入に対する借入金の返済負担の大きさを示すものです。18％を超えると、新たな借入れを行う際に国の許可が必要になるなど、一定の制約が生じます。

本市は、この基準には達していないものの、財政規模を踏まえると依然として高い水準にあり、借入金の返済が財政運営に大きな影響を及ぼしている状況です。

将来世代への負担を抑えるため、新たな借入れの抑制に取り組むとともに、基金を活用した償還負担の平準化に取り組んでいます。



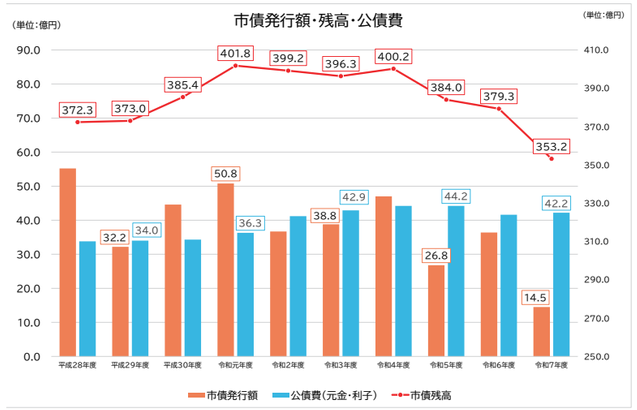
ポイント④

借入金残高は減少傾向

本市は、市域が広く、多くの公共施設や道路などのインフラを抱えています。老朽化した施設の更新や合併後のまちづくりのため、借入金を活用して整備を行ってきました。

一方で、借入金の返済が現在の財政運営に大きな影響を与えています。令和５年度から借入額の抑制に取り組み、借入金残高は400億円を超える水準から353億円まで減少しました。

今後も学校施設整備などの大型事業が検討されています。将来世代への負担をできる限り抑え、必要性や優先順位を十分に見極めながら、計画的な借入れと適正な市債管理に努めていきます。



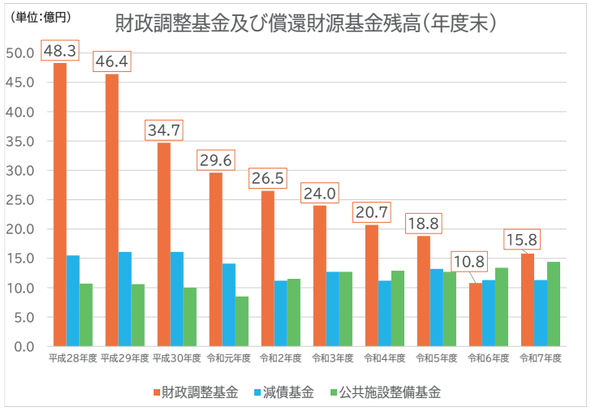
ポイント⑤

財政調整基金は回復傾向も 将来の財源確保が課題

財政危機脱却プランの取り組み開始以降、財政調整基金（市の貯金）は回復基調に転じています。

災害対応などの急な財政需要に備えるため、年間を通じて10億円以上の残高を常に維持し、将来的には20億円の確保を経て、安定的に30億円規模の残高を確保することを目標としています。

一方で、今後は借入金の返済がピークを迎える見込みです。減債基金や公共施設整備基金を活用し、返済負担の平準化を図ります。これらの基金は残高の減少が見込まれることから、安定的な償還財源の確保にも努めていきます。



特別会計・企業会計

特別会計・企業会計決算の詳細は市ホームページをご覧ください。

【資料：令和８年第３回定例会議案書（認定第２～10号別冊、主要な施策の成果報告書）】

財政運営の方針

人口減少が進む中でも、市民の皆さんが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し「財政危機脱却プラン」に基づく行財政改革を進めています。財政状況や基金残高には改善の兆しが見られる一方で、令和９年度から10年度にかけて借入金の返済ピークを迎えるため、将来負担の軽減に向けた財源確保が重要な課題となっています。

そうした中、集中改革期間（３年間）の２年目となる令和９年度当初予算編成は、改革の成果を確かなものとし、その後の財政運営の方向性を決定づける重要な節目となります。

行財政改革の道のりはまだ途上にありますが、今後も改革を継続しながら、人口減少時代に対応した持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。



安全・安心な水環境を未来へつなぐために

上下水道料金改定を検討

上下水道は、私たちの生活に欠かすことのできない大切なライフライン。将来にわたって安定的に運営していく必要があります。

しかし、現在、人口減少に伴う料金収入の減少や物価高騰によって事業運営は厳しい状況にあります。安心・安全な水を届け続けるためには、老朽化した施設の更新や耐震化を計画的に行わなければなりません。市では水道料金および下水道使用料の改定を検討しています。

問 上下水道課☎ 62-6411

上下水道料金のあり方を考える審議会からの答申

市では、上下水道事業の適正な経営を図るため「市上下水道事業経営審議会」を令和 5 年度に設置。今年 7 月 8 日（水）に市長から審議会に対して、水道料金および下水道使用料のあり方について諮問を行いました。

審議会では全 3 回の会議を開催。協議内容がまとめられた答申書が、10 月 27 日（火）に審議会から市長に提出されました。



市長に答申書を手渡す審議会の羽鳥剛史（つよし）会長（愛媛大学社会共創学部教授）

答申の主な内容

答申には、次の内容が盛り込まれています。

水道料金

①基本料金を一律 110 円増額する。一般家庭用の口径 13mm の場合 5㎥まで 1045 円、6 ～ 8㎥は 1375 円

②１㎥あたりの超過料金を一律 275 円とする。宇和は 22 円、 野村・三瓶は 55 円増額する

下水道使用料

①基本使用料を 165 円増額して 990 円とする

②１㎥あたりの従量使用料を、8 ～ 20㎥分を 22 円増額し 198 円にする。20㎥を超える分は 11 円増額して 198 円（8 ～ 20㎥と同額）にする

詳細は市ホームページをご覧ください。

料金改定に関する住民説明会

審議会からの答申を受け、市では令和 9 年 4 月使用分から水道料金および下水道使用料の改定を行う予定です。

料金改定の対象となる明浜・宇和・野村・三瓶地区で住民説明会を開催します。ご参加ください。



日・場所

明浜地区
12 月 14 日（月）明浜支所
宇和地区
12 月 23 日（水）教育保健センター
野村地区
12 月 21 日（月）野村支所
（※城川支所からオンラインで参加可能）
三瓶地区
12 月 15 日（火）三瓶支所

時間

全ての会場で昼と夜 2 回開催します。
昼の部　午前 10 時～ 11 時 30 分
夜の部　午後 7 時～ 8 時 30 分

国の重点支援地方交付金活用

物価高騰対策

国の重点支援地方交付金などを活用し、物価高騰による生活者および事業者への影響を軽減することを目的に、経済対策第 4 弾として、次の支援事業を実施します。詳しくはホームページをご確認ください。

学校教材費等支援事業

令和 8 年度の教材費などを対象に、児童生徒 1 人あたり 1 万 2000 円を上限として補助します。

- 保護者の承諾書が必要です
- 10 月 1 日時点で、市立学校に在籍する児童生徒を対象とします
- 予算措置：2521 万円

問 学校教育課☎ 62-6414



口座振替済証明書の送付を廃止します



市税や後期高齢者医療保険料の口座振替結果をお知らせしていた「口座振替済証明書」は、令和 8 年分（令和 9 年 1 月送付分）から廃止します。今後は、預貯金通帳などで振替結果をご確認ください。

確定申告で利用されている場合

口座振替済証明書の添付は不要です。納付額は預貯金通帳などで確認してください。

課税額などの確認方法

毎年 5 月以降に発送される「納税通知書」（市税）、「課税明細書」（固定資産税）、「決定通知書」（後期高齢者医療保険料）で確認できます。

証明書の発行が必要な場合

通帳などで確認ができず、どうしても口座振替済証明書が必要な場合は、各担当課へお問い合わせください。なお、郵送は行っていませんのでご了承ください。

※国民健康保険税、後期高齢者医療保険料は「納付済確認書」または「納付証明書」を交付できます。

問 市税に関すること 税務課☎ 62-6401
保険料に関すること 市民課☎ 62-6405

キラリと光る市民に

キラリ西予大賞

全国レベルの大会などで優勝またはそれに値する成績を収め、西予市の名声を高めた４名の功績に対してキラリ西予大賞を授与しました。



（写真左から）

森鳰（もりにぶ）　真緒（まお）さん（野村小学校６年）

全国小・中学校箏曲コンクール 小学生個人の部金賞

黒田 いちごさん（野村中学校３年）

全国小・中学校箏曲コンクール 中学生個人の部金賞

福井順一（じゅんいち）さん・愼也（しんや）さん（宇和町田苗真土）

飼料用米多収日本一コンテスト農林水産大臣賞（全国１位）

一般財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸有功賞



井関　奈央（なお）さん

＝野村町野村＝

井関奈央さん（43）が、一般財団法人大日本蚕糸会の令和８年度蚕糸有功賞に輝きました。

コメント「農家さんが繭を作ってくださってはじめて仕事ができる。大変感謝している。市の一層のサポートと理解をお願いし、全体で連携してこの先も伊予糸を残していきたい」

四国中学校 総合体育大会 準優勝



岡野　謙信（けんしん）さん

＝宇和町卯之町＝

岡野謙信さん（宇和中３年）が、四国中学校総合体育大会柔道競技男子個人 90 kg級で準優勝に輝きました。

コメント「優勝を目標にしていた分、悔しい気持ちが強い。調子が出なかった日々も支えてくれた人たちに恩返しがしたい。高校ではインターハイ優勝を目標に、精進していきたい」

愛媛県 U18・U16 陸上競技大会 第１位



井上　大和（やまと）さん

＝宇和町下松葉＝

井上大和さん（宇和中２年）が、愛媛県陸上競技大会男子 U16 ジャベリックスロー（51 m 71）で第１位に輝きました。

コメント「大会で自己ベストを出せて嬉しかった。次は、全国の舞台でメダルを持って帰ることができる選手を目指して、練習を積み重ねたい」

かりとりもさくの会 過疎地域持続的発展優良事例表彰 総務大臣賞受賞



10 月 29 日（木）、福井県で開催された表彰式で、表彰状を手に記念写真に納まる「かりとりもさくの会」事務局の二宮祥子（さちこ）さん（写真中央）

明浜町狩江地区の地域づくり組織「かりとりもさくの会」が、総務省及び（一社）全国過疎地域連盟が行う「令和８年度過疎地域持続的発展優良事例表彰」で総務大臣賞を受賞しました。

これは、廃校利活用、地域食堂の開催など、長年の交流促進と地域活性化に向けた取り組みが評価されたものです。同会長の宇都宮順一（じゅんいち）さんは「住民が多く参加する『住民一体型』の地域力を評価してもらった。今後も、外貨を得て地域に還元する自立型の地域づくりを継続し、活性化を図りたい」と喜びを語りました。

「老人の日」を前に長寿を祝う 副知事が長寿者を表敬訪問



９月 11 日（金）、濱里要（かなめ）副知事が、今年度中に 100 歳を迎える藤田英嗣（ひでし）さん（野村）を表敬訪問しました。これは愛媛県が「老人の日」を前に、令和８年度中に 100 歳を迎える長寿者宅を訪問し、祝福する取り組みの一環です。

副知事からお祝いが手渡された後、長寿の秘訣について歓談。藤田さんは「戦時中に特攻隊に志願し、10 代で命を捧げる覚悟をした。その気持ちが今の基礎になっている」などと話をされました。現在もシニアクラブ会員としてクロッケーの練習や大会に参加する藤田さん。元気な姿に触れ、副知事も感銘を受けた様子でした。

明浜中学校の生徒による 熊本地震復興支援募金



11 月５日（木）、明浜中学校の生徒から熊本地震復興支援募金が手渡されました。この募金は、同校生徒有志が「被災地を支援したい」と、10 月４日（日）に開催された「第９回あけはマルシェ」の会場で呼びかけて集めたものです。

同校生徒会長の酒井颯介（そうすけ）さん（３年）は「被害を受けて苦労している人たちの支えになったらという思いで募金活動をした。たくさんの人に募金をしてもらって嬉しかった。復興の支えになるよう活用してもらいたい」と語りました。

寄託された募金は、日本赤十字社を通じて被災地の復興支援に役立てられます。

明治安田生命保険相互会社 「私の地元応援募金」贈呈



10 月 29 日（木）、明治安田生命保険相互会社から、市に対し寄付金 81 万 2298 円が贈られました。「私の地元応援基金」は、同社が社会貢献活動の一環として行っているもので、令和４年以降５回目の寄付となります。

同社松山支店法人・自治体担当推進役の宇都宮健（けん）さんは「地元を応援したいという従業員の思いを込めた募金です。『ここにしかない』を育むまち西予の推進に向けて、より一層支援をしていきたい」と述べました。

市長は、毎年の寄付への感謝とともに、重要施策に大切に活用する旨を伝えました。

ぎゅっと。



子育て情報を
ぎゅっと。まとめてお届け

Check!

こちらの情報は、ホームページ「ライフイベント応援」にまとめて掲載しています！

ひとり親世帯への貸付金

母子父子寡婦福祉資金貸付金（愛媛県の貸付金）は、ひとり親家庭および寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図り、あわせて児童の福祉を増進することを目的とした貸付金制度です。

対象者

・母子家庭の母と児童
・父子家庭の父と児童
・寡婦および 40 歳以上の配偶者のない女子（婚姻をしたことのない独身者は対象外）

※寡婦または 40 歳以上の配偶者のない女子で、現に子を扶養していない人のうち、前年度の所得が 203 万 6000 円を超える人は所得要件があります。

貸付金の種類

目的に応じて 12 種類の資金があります。事業開始、事業継続、修学、技能習得、修業、就職支度、生活、住宅、転宅、就学支度、医療介護、結婚貸付金の種類によって、限度額、償還期間など異なります。

相談や申請の受付は市で行い、貸付審査は県が行います。貸付金の振込までおよそ 2 ヶ月かかりますので、余裕をもってご相談ください。（審査の結果、貸付できない場合もあります。）

問 子育て支援課 ☎ 62-6551

病児保育室の利用手続き

スマイル保育園病児保育室では、子どもが病気にかかり、保護者が仕事などの理由で家庭での保育が困難な場合に、子どもを預かり、看護師と保育士が看護・保育を行います。

対象者 生後 6 カ月～小学 6 年まで（※市内在住または市内の小学校・保育所などに入所している子どもに限ります）

実施施設 スマイル保育園病児保育室（宇和町清沢 2009-2（市民病院北側））

利用時間 月～土曜日午前 7 時 30 分～午後 6 時
※日・祝・年末年始休み

利用料金 食事代にはおやつ代を含みます。
1 日 1500 円（食事代 500 円以内）
半日 750 円（食事代 400 円以内）
※ひとり親家庭世帯（市民税非課税世帯）、生活保護世帯については食事代のみ

事前利用登録や利用予約などの詳細は市ホームページをご覧ください。

問 スマイル保育園 ☎ 62-6736

相　談	日　時（受付時間）	場　所
育児相談　※母乳相談要予約		
問 こども家庭センター ☎ 89-0018	12 月 16 日（水） 午前 9 時 30 分 ～ 10 時 30 分	教育保健センター
問 野村支所地域生活課 ☎ 72-1112	12 月 8 日（火） 午前 9 時 45 分 ～ 10 時	野村児童館
かかわり相談（乳幼児の発達相談）　※要予約		
問 こども家庭センター ☎ 89-0018 申込締切 12 月 14 日（月）	令和 9 年 1 月 14 日（木） 言語相談 午前 9 時 ～午後 2 時 15 分 心理相談 午前 9 時 15 分 ～午後 1 時 30 分	教育保健センター
子どもに関する定期巡回相談　※要予約		
問 福祉課☎ 62-6428	毎月第 3 金曜日 午前 9 時 30 分 ～午後 4 時	市役所 1 階相談室
愛媛県子ども医療電話相談		
☎# 8000（プッシュ回線・携帯電話）　☎ 089-913-2777（ダイヤル回線・IP 電話）		

利用時間など詳しくはホームページをご確認ください。

私たちの「声」が主役のコーナー

せ　い　よ　ク　ラ　ブ

Say!YO!CLUB

皆さんから寄せられた、身近な話題を紹介します



最近日課の朝さんぽ

日々子育てに忙しい中、貴重な朝イチひとり時間は、とても清々しいリフレッシュの時間です。

1日の始まりに近所を散歩すると季節を五感で感じることができます。稲刈りをした後の香り、その田んぼに来たサギの足跡。最初に見るいつものため池は、その日の天気や気温によって表情が全く異なります。

私の出身地三瓶ではなかなか見られない宇和のこの景色に、いつも感動しています。5町それぞれでしか見られない景色が必ずあります。これからも変わらぬこの景色を守り育てていく「四国西予ジオパーク」であって欲しいと願っています。



立教大学生が三瓶に！

9月16日（水）から2泊3日で、立教大学観光学部2年生ら計6名が三瓶町でゼミ合宿を行いました。宿泊先は、蔵貫にある古民家農家民宿「シュエ」です。

初日は農地見学の後、市長を表敬訪問。2日目はラジオ体操からスタート。「みかめやってみん会」の活動紹介、朝日文楽体験など行った後、フィールドワークに出発！みかめ本館では美味しい昼食もいただきました。

全行程を締めくくるプレゼンテーションでは、若者らしい柔軟な発想やアイディアが。帰り際「また来ます！何かお手伝いがしたい！」と言ってくれました。全力で楽しみ、三瓶のことを真剣に考えてくれた皆さん、ありがとうございました。



テーマは自由。待ちよります！

おたより募集

おたより方法

メッセージやエピソードとあわせて氏名（ペンネーム可）と連絡先を記入してください。メールの場合は題名に「せいよクラブ」と記載してください。文章は紙面の都合上、調整させていただくことがあります。

注意事項

コーナーの特性上、行政への要望や個人を誹謗・中傷するもの、勧誘や営業行為などにあたる内容は掲載できません。

送付先

【メールの場合】
seisakusuishin@city.seiyo.ehime.jp
【FAX の場合】0894-62-6501
【ハガキの場合】
〒 797-8501 愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1 西予

買い物気分で
情報探しを
楽しんで

Information market

仕事や生活、趣味に役立つ最新情報をお届けします。
パラパラめくって、気になるものをチェック！
自分にぴったりな掘り出し情報が、きっと見つかります。

募集

自称・日本一親切な合同会社説明会「シゴト発見フェス」



自称・日本一親切な合同会社説明会「シゴト発見フェス」にぜひご参加ください。参加無料。

日時 12月27日（日）午前10時～午後2時30分

場所 愛媛県県民文化会館 2階 真珠の間（松山市道後町2丁目5-1）

内容

県内50社が集結！毎年好評の適性診断やブースツアーで企業探しを徹底サポート。県外学生必見の交通費補助もあります。

対象 高校生を除く全学年の学生、既卒3年以内の求職者

申込み 特設サイトから事前申込み
※当日参加も大歓迎！

申込期間 12月26日（土）正午まで

問 ジョブカフェ愛work（松山市湊町4丁目8-13）☎089-913-8686 ／ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.ai-work.jp/

運動で元気な地域づくりをはじめてみませんか

地域での健康づくりや交流の場づくりを応援するため「介護予防運動教室」と「いきいき百歳体操教室」の参加グループを募集しています。集会所など身近な場所で実施できます。教室終了後は、地域で継続して実施することを目指します。仲間と一緒に楽しく健康づくりを始めてみませんか。

対象 65歳以上の人を中心とした5人以上のグループ

内容

・介護予防運動教室（全5回）
理学療法士や健康運動指導士などが、介護予防のための運動やストレッチを指導します。

・いきいき百歳体操教室（全3回）
DVDを見ながらおもりを使った筋力運動を学びます。体験会も実施できますので、お気軽にお問い合わせください。

参加費 無料

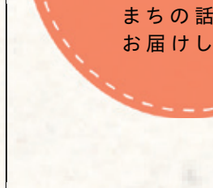
問 長寿介護課☎62-6406

CITY TOPICS

まちの話題をお届けします

地震を想定した大規模防災訓練を実施

10月4日（日）野村町渓筋で、南海トラフ地震を想定した市防災訓練を実施しました。当日は約200人の住民が参加。消防、自衛隊、消防団、住民による建物や車両からの救出訓練などを実施しました。このほか、発災直後に迅速かつ安全に避難所を開設するため、あらかじめ開設手順をまとめたカードを活用した訓練も実施。関係機関と地域が連携し、災害対応力向上を図りました。



日本一長い木造廊下を駆け抜ける！ Z-1グランプリ



親子ダブルスの部門で懸命に走る親子。ゴール後は充実のばんざ～い！

10月11日（日）、宇和米博物館で「2026雑巾がけレースZ－1グランプリinせいよ」が開催されました。今年は20回記念大会であり、全国各地の6歳から76歳まで合計182人が参加。今年の最高記録は会場はおおいに盛り上がりました。

アスリート部門1位の18秒16。男子の部門でも18秒33という好記録が生まれました。

全身の力を使って懸命に走る姿に、大勢の観客から熱い声援が送られ、



各部門の入賞者には特産の「宇和米」が贈呈されました。

達間館（だちまかん）ツリーハウス落成

11月1日(日)、野村町中筋でツリーハウス「達間館」の落成式が行われました。名前には、野村地域の方言をモチーフに「人を呼び込む場に」という思いが込められています。

式典では、これまでの歩みを振り返る映像上映などが行われ、今後の活用に向けておおいに期待が高まりました。多世代が気軽に集い、地域の交流とにぎわいづくりにつながることを願っています。みなさんもぜひお気軽にお立ち寄りください。



住民、関係者と共に完成を祝いました



中筋の自然の中に佇むツリーハウス



第3回シクロクロス in四国西予ジオパーク開催



愛媛県を中心とした瀬戸内地域での自転車文化の普及・啓発を図ることを目的に、瀬戸内シクロクロスシリーズの西予大会を開催します！

日時 12月13日（日）午前8時30分～
場所 宇和運動公園
参加 およそ150人の選手が参加エントリー

シクロクロスとは？

舗装道路や土、芝、砂利、泥などさまざまな路面状況を織り交ぜたコースを走る自転車競技の一種。階段やシケインと呼ばれるコース上の障害を自転車を乗り降りしながら、周回コースで規定時間内の着順を競います。

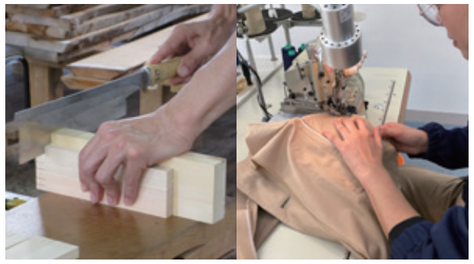
お願い

安全のため、宇和運動公園につながる市道337号線および公園内道路の一部を通行制限します。また、大会当日は宇和清掃センターに粗大ごみを持ち込み予定の人は、下記の迂回路を通ってお越しください。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。詳しくはホームページをご確認ください。

問 まちづくり推進課☎62-6403



職業能力開発校を一般開放 令和8年度技能ひろば開催



公共職業訓練を行う職業能力開発校（産業技術専門校）を一般開放し、訓練作品の展示発表、ものづくり技能体験などを行う「令和8年度技能ひろば」を開催します。

日時 12月13日（日）午前10時00分～
場所 県立宇和島産業技術専門校（宇和島市柿原甲1712）
内容

訓練作品展示発表

・建築構造模擬ブース、装飾建具ほか
・サスティナブルファッション作品
・地域資源を活用したコサージュほか

技能体験（定員制）

・マイ箸づくり
・木製サインボードづくり
・繭玉ストラップづくり
・工業用ミシンを使った体験

技能サービス

・木育コーナー
・木の粒のつかみ取り
・まな板ビフォーアフター（当日は受付のみ。後日修整加工しお渡し）
・キャラクター衣装の着せ替え撮影ブース

このほか、軽食コーナーやタオルなどの即売、離・転職者向け職業訓練、障がい者向け職業訓練相談コーナーを実施します。

一部内容は変更となる場合があります。

問 県立宇和島産業技術専門校
☎0895-22-3410

ペアレントメンター養成講座を受講してみませんか



ペアレント・メンターとは、自身の子育ての経験を生かし、同じ立場の保護者の気持ちに寄り添いながら相談に応じる「子育ての先輩」です。

発達障がいや障がいのある子どもを育てる中で、不安や悩みを抱えながらも一歩ずつ歩んできた経験は、同じ悩みを抱える保護者にとって大きな支えとなります。

本講座では、ペアレント・メンターの役割や相談支援の基本を学び、保護者同士の支え合いについて理解を深めます。これまでの子育て経験を生かして、同じ悩みを抱える保護者の力になりたい方、保護者同士の支え合いに関心のある方は、この機会にぜひ受講してみませんか。

受講日 令和9年1月16日（土）
※受講は1回のみ
時間 午後1時30分～4時30分
場所 図書交流館まなびあん（宇和町卯之町一丁目245-1）
対象者 発達障がいまたはその傾向にあるお子さんを育てた経験がある保護者
申込期限 令和9年1月6日（水）
申込方法 専用フォームまたは電話で申し込みください。
問 こども家庭センター☎89-0018

不登校への理解を深める保護者向けセミナーを開催

不登校に悩む保護者の孤立をゼロにするため、NPO法人の代表として活躍している講師が、自身の不登校、ひきこもりの経験を伝えながら保護者の悩みに寄り添います。

不登校の不安や思いを語り合い、子どもを支えていくヒントや一歩を踏み出すきっかけを見つけませんか。少しでも気持ちを軽くしたいと思う方、ぜひ、ご参加ください。

日時 令和9年1月30日（土）午後1時～4時
対象 不登校および不登校傾向の子どもを持つ保護者
会場 図書交流館まなびあん（宇和町卯之町一丁目245-1）
講師 poco pono COCO 代表 太田聡美氏
申込方法 二次元コードまたは電話で申し込みください
問 こども家庭センター☎89-0018

春休み海外研修交流事業 参加者募集

公益財団法人国際青少年研修協会では、「春休み海外研修交流事業」の参加者を募集しています。詳しくは協会ホームページをご覧ください。

研修国 イギリス、オーストラリア、カナダ、サイパン、フィリピン、カンボジア
内容 ホームステイ、スクール体験など
日程 令和9年3月26日(金)～4月6日(火)のうち、6～11日間
対象 小学3年～高校3年まで（※コースにより対象学年が異なります）
参加費 32万4000円～76万8000円（※コースによって異なります）
説明会 まずはオンライン説明会にお申し込みください。日時は複数日あります。詳細は二次元コードからご確認ください。
説明会申込方法 二次元コードまたはメール（メールの場合は「オンライン説明会希望」と記載して送信）
問 公益財団法人国際青少年研修協会☎03-6825-3130 ／メール：info@kskk.or.jp



まちに冬のおかげがともり、
楽しい行事が近づくたび、ワクワクするね！
風邪をしかないように気を付けて、
笑顔あふれる冬の日々をみんなでむかえようね。



国民年金保険料の控除証明書は申告まで大切に保管を

国民年金の保険料は、所得税と住民税申告で全額が社会保険料控除の対象となります。控除を受けるには、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が必要です。

控除証明書は日本年金機構から11月または2月に届きます。年末調整や確定申告まで大切に保管してください。控除証明書はe-Taxで利用できる電子版の交付も行っています。詳しくは日本年金機構ホームページをご確認ください。

対象者ごとの控除証明書送付時期

	対象者	送付時期	
①	1月1日～9月30日までに国民年金保険料を納付した人	郵送	10月下旬～11月上旬
②	①のうち、「ねんきんネット」で事前に電子送付希望の登録をした人	電子送付	10月中旬～下旬
③	10月1日～12月31日までに国民年金保険料を納付した人（①の対象者は除く）	郵送	令和9年2月上旬
④	③のうち、「ねんきんネット」で事前に電子送付希望の登録をした人	電子送付	令和9年1月下旬

問 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書に関する問い合わせ（電子送付に関するお問い合わせを除く）はねんきん加入者ダイヤル ☎ 0570-003-004

電子送付に関するお問い合わせは、ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル ☎ 0570-058-555

年末年始のし尿と浄化槽汚泥の汲み取り

西予市衛生センターが、12月30日（水）から令和9年1月3日（日）の期間、年末年始休業日のため受け入れを停止します。年末年始の汲み取りを希望される場合は、許可業者へ早めの確認をお願いします。

問 環境衛生課☎ 62-1132

気温が低いときは水道管の凍結対策を

気温が0℃を下回ると水道管が凍結、破裂する恐れがあります。過去にも、この時期に市内で凍結被害が発生しました。本格的な冬を迎える前に水道管の凍結対策をしましょう。

凍結予防方法

- 屋外の水道管は保温材などで包む
- 冷え込みそうな夜は蛇口から少量の水を出す（出した水は有料。バケツに貯めて再利用を）
- メーターボックスに毛布や新聞紙を入れたり、段ボールを乗せたりする

給水装置の修理費用は自己負担

給水装置などが凍結で破損した場合、修理費用は自己負担になります。破損を防ぐためにも、凍結対策は重要です。凍結対策の詳細や凍結時の対応方法などの詳細は市ホームページをご覧ください。

問 上下水道課☎ 62-6411

12月の「いいやん！西予」令和7年度決算報告

	月	火	水	木	金	土	日
午前6時～	■				■		
午前11時15分～							■
午後0時～			■				
午後0時15分～	■	■		■			
午後0時45分～						■	
午後5時15分～						■	■
午後10時～					■		
午後10時15分～		■					

西予ＣＡＴＶきらりチャンネルで「いいやん！西予」西予市行政情報番組を、毎日放送中です。

12/ 1～14まで

- 令和7年度決算報告（前編）
- 【特集】時と空間を超えて（前編）

12/15～31まで

- 令和7年度決算報告（後編）
- 【特集】時と空間を超えて（後編）

放送時間（予定）

番組内容は毎月1日と15日に更新予定です。

夜間・休日の救急診療

二次救急（12月）

中症～重症患者の受け入れをする医療機関です。検査・入院・手術が必要な場合に備え医師と外来看護師が当直し、検査・放射線技師が待機して救急医療にあたっています。変更となる場合があるため医療機関へ確認の上、お出かけください。

市内の二次救急病院は、次のとおりです。

西予市民病院：内科・外科（下記以外）☎62-1121

火（夜間・外科）	市立大洲病院☎0893-24-2151
水（夜間・外科）	喜多医師会病院☎0893-25-0535 西予市民病院☎62-1121 （処置・入院加療は 市立八幡浜総合病院☎0894-22-3211）
木（夜間・外科）	市立八幡浜総合病院☎0894-22-3211

一次救急

入院や手術が不要な軽症患者の治療にあたります。

明浜・宇和・野村・城川地区

12月6日（日）	井関整形外科・皮膚科（野村）☎72-0030
12月13日（日）	二宮医院（卯之町二）☎62-0144
12月20日（日）	土居内科（上松葉）☎69-1285
12月27日（日）	二宮医院（卯之町二）☎62-0144
12月31日（木）	野村診療所（野村）☎72-0180

三瓶地区

いずれも八幡浜一次救急休日・夜間診療所（八幡浜市大平）☎0894（24）1199

小児科

12月6日（日）	ごとう小児科（大洲市東大洲）☎0893（23）0510
12月13日（日）	大洲ななほしクリニック（大洲市東若宮）☎0893（25）7710
12月20日（日）	みかんこどもクリニック（八幡浜市白浜通）☎0894（20）8800
12月27日（日）	八幡浜一次救急休日・夜間診療所（八幡浜市大平）☎0894（24）1199
12月29日（火）	おおむら小児科（内子町城廻）☎0893（44）7117
12月30日（水）	守口小児科（八幡浜市産業通）☎0894（24）7770
12月31日（木）	おおくぼこどもクリニック（大洲市徳森）☎0893（57）9366

小児科の診療時間は、午前9時から正午と午後2時から5時までです。ただし、八幡浜市内の診療所は午後6時までです。外科治療は対応困難なため、けがなどの場合は外科系当番医か救急病院をご利用ください。患者数などにより受診対応できない場合がありますことをご了承ください。

小児科薬局

12月6日（日）	くれよん薬局（大洲市東大洲）☎0893（59）0320
12月13日（日）	よつば薬局東若宮店（大洲市東若宮）☎0893（25）1010
12月20日（日）	しらはま薬局（八幡浜市白浜）☎0894（35）7031
12月31日（木）	すずね薬局（大洲市徳森）☎0893（57）9688

記載のない休日は、当番医療機関が院内でお薬を処方します。お薬手帳を持参してください。

相談

相　談	日　時	場　所	問い合わせ・申し込み
特設人権相談所	12月9日（水） 午後1時～3時	明浜支所	人権啓発課 ☎62-6492
行政相談	12月8日（火） 午後1時～3時	西予市役所	総務課 ☎62-6400
	12月7日（月） 午前9時30分～11時30分	野村地域づくり 活動センター	
	12月15日（火） 午後1時～3時	三瓶支所	
難病相談	12月10日（木） 午後2時～4時	八幡浜保健所	八幡浜保健所 難病・母子保健係 ☎0894-22-4111
心配ごと相談	12月16日（水） 午後1時30分～3時30分	渡江集会所	社会福祉協議会本所 ☎72-2306
	12月8日（火）・22日（火） 午後1時～3時	社会福祉協議会 宇和支所	
	12月8日（火） 午後1時～3時	社会福祉協議会本所	
	12月7日（月） 午後1時～3時	三瓶支所	
法律相談 （要予約）	12月18日（金） 午後2時～4時	社会福祉協議会 宇和支所	社会福祉協議会宇和支所 ☎62-3770
	12月8日（火） 午後1時～3時30分	社会福祉協議会本所	社会福祉協議会本所 ☎72-2306
介護・福祉・ 認知症相談	12月7日（月） 午後1時～3時	社会福祉協議会 宇和支所	社会福祉協議会本所 ☎72-2306
	12月9日（水） 午後1時～3時	社会福祉協議会本所	



1分間、安全確保をシェイクアウトえひめ



地震発生時の安全確保行動を確認する防災訓練「シェイクアウトえひめ」をえひめ防災週間に合わせて実施します。

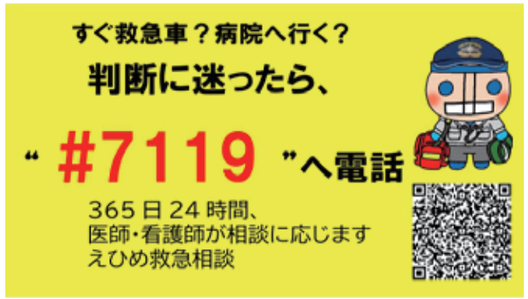
参加者は、その場で「①まず低く =DROP ！」→「②頭を守り = COVER ！」→「③動かない = HOLD ON ！」の3つの安全確保行動を1分間行います。誰でも、どこでも参加可能。県ホームページで参加登録を募集しています。

日時 12月17日（木）午前11時から1分間

実施方法

防災行政無線から流れる訓練放送に合わせて安全確保行動をとる

問 危機管理課☎62-6491



家屋の異動手続きは年内に必ず届出を

令和8年中に家屋の取り壊しや未登記家屋の所有者変更があった場合は、期限までに税務課へ届出をお願いします。

家屋を取り壊したとき

固定資産税に関する「家屋滅失届」の提出が必要です。※オンラインでの申請も可能です。

未登記家屋の所有者を変更したとき

相続、売買などで未登記家屋の所有者を変更する場合は「未登記家屋所有者変更届」の提出が必要です。

期限 12月28日（月）

問 税務課☎62-6401

市民のうごき（10月末）

人　口	3万2121人(-48) 男 1万5327人(-19) 女 1万6794人(-29)	カッコ内は前月比
世帯数	1万6818世帯(-11)	
出　生	9人(+3) 男7人(+2)　女2人(+1)	
死　亡	54人(0) 男24人(-4)　女30人(+4)	

有料広告





発行／西予市役所　編集／政策推進課
〒797-8601 愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1
発行日／令和8年11月20日　電話／0894-62-1111（代表）
E-mail/seisakusuishin@city.seiyo.ehime.jp　IP電話／0894-89-7000 ※IP電話同士の通話料無料
印刷：廣文社印刷株式会社

Walk On!

目標に向かって
歩み続ける人などを紹介します



食と空間を通じてまちに灯りを、人に笑顔を

中越 清文 さん

＝宇和町卯之町＝

高校卒業後、居酒屋での7年間の勤務を通じ飲食業の楽しさに魅了されました。一度は電気業に転職したものの、その時の楽しさが忘れられず、1年間の準備期間を経て2015年に1店舗目を開業しました。その後会社を設立し、焼き肉店やカラオケ店などを展開しています。

店では、地元で生産された食材を多く使った料理にこだわっています。西予の食材は全国に誇れるものばかりです。そのことを多くの人に知ってもらいたいですね。

空間づくりも大切にしています。「二次会ができる場所がほしい」というお客様からの声を受けて生まれたカラオケ店のように、食と空間を通じてまちに灯りをともし、活気をつくり出すことが原点（地元）への恩返しだと考えています。

お客様との縁はもちろん、従業員との出会いもかけがえのないものです。縁があって集まった従業員の育成と夢の支援に力を入れています。ここで腕を磨き、将来起業する仲間が増えれば地域は一層活性化すると信じています。会社の成長に応じて、従業員と力を合わせ、市外に向けても地元の魅力を発信していきます。

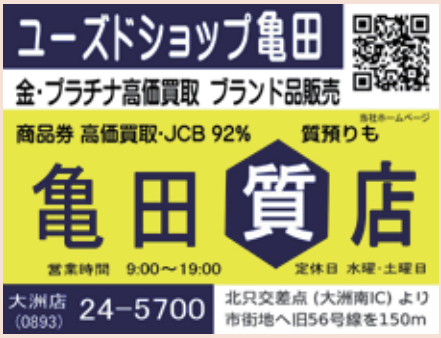
「ここがあって良かった」と感じていただけるよう地域に根差し、みなさんの特別な日に寄り添いながら、笑顔の輪を広げていきます。

Profile　なかごえ・きよふみ

1982年生まれ。西予市出身。「炭火居酒屋ごえもん」「焼肉大入」など、4店舗を経営する「つかむ株式会社」代表取締役。社名には夢などを「つかむ」という意味が込められている。

有料広告









広告募集中

問 政策推進課
☎ 0894-62-6421

編集後記

散りばめられた伏線から展開を「考察」するように、短い楽曲に込められた情景から、記憶や体験とリンクした解釈ができる校歌。「メロディのゆるやかな起伏が、あの山の稜線とリンクする」取材で出会った素敵な言葉です。

作者の意図は、歌い手の「考察」できっと無限に広がります。校歌に宿る不思議な魅力を感じた取材でした（井）